

## 別紙

### 温室効果ガス削減実施状況報告書

#### 1 事業の概要

(1) 事業所の名称

山陽染工株式会社 本社工場

(2) 事業所の所在地

福山市一文字町6番1号

(3) 業種

1141 綿・スフ・麻織物機械染色業

#### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成2(1990)年度を基準年度とする平成23(2011)年度から平成27(2015)年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況 《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成2年度	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	20,103	11,000 45.3	11,479 42.9	8,819 56.1	9,410 53.2	8,855 56.0	8,659 56.9
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	0	0	0	0	0	0	0
メタン	0	0	0	0	0	0	0
一酸化二窒素	0	0	0	0	0	0	0
フロン類	0	0	0	0	0	0	0
温室効果ガス 実排出量総計	20,103	11,000 45.3	11,479 42.9	8,819 56.1	9,410 53.2	8,855 56.0	8,659 56.9
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の基準年度に対する排出量は 56.9%の削減率となり、生産数量の減少もあり目標を下回ることが出来たが、生産数量を維持する中で目標を達成できるよう努力したい。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

### 《原単位を削減目標とする場合》 原単位算定に用いた指標：

温室効果ガスの種類	基準年度の 実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成2年度	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>			0.2380 —	0.2555 —	0.2481 —	0.2376 —	0.2327 —
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量							
エネルギー消費 原単位 (原油換算k1)			0.2380 —	0.2555 —	0.2481 —	0.2376 —	0.2327 —
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	重油使用量の削減	温室効果ガス：約205t-CO <sub>2</sub> 減	ボイラー(水管・A重油・貫流・都市ガス)の運用変更 燃料単価を考慮する中でボイラ燃料の都市ガスの使用比率を前年の20%程度を30%程度に増加
2			
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物の再資源化	回収率 100%	分別収集および資源化徹底 空缶・蛍光灯等⇒回収業者
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。